

はしもと

〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます
常に新しく良質な医療ができるように心がけます
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療
2. わかりやすさ



認知症治療病棟

★ 生活機能回復訓練をご紹介します ★

当病棟には2名の作業療法士が勤務しております。
気になる事がありましたらお気軽にご相談ください。

<生活機能回復訓練とは>

当院の生活機能回復訓練では、作業療法士・看護師などにより患者様の潜在能力を見つけ出し、日常生活の中でその力を発揮するための訓練や、安心して生活を送るための支援準備を行います。患者様の生活能力を活性化することで、心身機能・認知機能の維持・向上と、不安や心身ストレスにより生まれる徘徊や妄想など（=周辺症状）の軽減を図ります。



<どんなことをやっているの?>

日常生活行為（ADL）訓練：

身辺処理能力の低下している方に対し、排泄や食事、整容などの動作の自立の援助や訓練を通して自己への関心を高める機会を作ります。また、日常生活行為だけでなく、右写真のように個々の能力に合わせた訓練も行っております。

< 整髪 >



< 洗い物 >



レクリエーション：集団体操やゲームでの全身運動は、夜間不眠の改善や昼夜逆転を防止します。

運動療法：平行棒やPOPO（免荷式リフト）を利用し、個々の能力に合わせた歩行訓練などの運動療法を行います。

調理療法：週に1回、馴染みのあるおやつ作りを実施し、記憶の想起に働きかけています。

院外活動：社会性の向上を目的とし、週に1回、近くのスーパーや公園などへ足を運んでいます。



回復期リハビリテーション病棟

<食事を安全に食べるために>

食べ物や飲みものを飲み込む動作を「嚥下」、この動作が正しく働かないことを「嚥下障害」といいます。嚥下障害の最も重要な問題が、食べ物や飲み物、唾液などが誤って気管や気管支内にはいる「誤嚥」です。誤嚥によって生じる肺炎を誤嚥性肺炎と言います。

現在の日本の死亡原因は、1位 がん、2位が心疾患、3位が肺炎となっています。肺炎の約70%が誤嚥性肺炎で亡くなると言われており、高齢になるにつれてさらにその割合は増加します。当院では、安全に食事が食べられるように食事評価を行いながら食事形態の検討を行います。また、嚥下機能が悪く食事が食べられない方や、食事形態の工夫が必要な方に対しては、言語聴覚士が嚥下訓練を実施しています。

名称		適応
米飯	常菜	特に問題のない方
軟飯	軟菜	咀嚼力が弱い方
全粥	やわらか菜	自歯や義歯がない方、咀嚼力が弱い方
ペースト粥	ミキサー菜	自歯や義歯がない方、咀嚼力が弱い方、舌の動きが悪い方



米飯・常菜



ペースト粥・ミキサー菜

当院には11名の言語聴覚士が勤務しております。
食事や嚥下について、気になる事がありましたらお気軽にご相談ください。

栄養部

★ イベント食をご紹介します！ ★

ごちそうの日(寿司)



押し寿司
里芋のそぼろあん
ほうれん草お浸し
清汁 みかん

ごちそうの日(赤飯)



赤飯
鯛の塩焼 煮物
お浸し 清汁

ハロウィン



サフランライス
ハロウィンコロッケ
スパゲティサラダ
ミネストローネ
ミルクティーゼリー



通所リハ おやつバイキング



10月のバイキングは中華料理をメインとし、ラーメン・ぎょうざ・大学芋など取り入れました。



薬剤部

◇ おくすりは、“一包化” ◇

おくすりの“一包化”って、ご存知ですか？

おくすりは、1日1回や1日3回など、のみ方がいろいろだったり、のむ数が多かったり、わかりにくいことはありませんか？

“一包化”とは、朝・昼・夕など、服用するタイミングが同じお薬や、1回に複数個服用するお薬を、1袋ずつパックにすることです。また袋には、お名前、のむ時期、日付などが記載されています。特に高齢の患者様は複数の病気を治療されていることも多く、お薬の量が多くなり管理が複雑になることもあります。



pixta.jp - 8774824

このように、お薬を管理しやすくするための方法として、“一包化”があります。

薬剤部では、くすりは特別な場合を除き、すべて“一包化”（1つの袋に1回分をまとめる作り方）で作っています。

ただし、お薬によっては、“一包化”に適していない又はできない場合があります。吸湿性が高く湿気に弱いお薬、特別な管理が必要なお薬、効能・効果により他のお薬と分けたほうがよいものなどです。“一包化”できていない場合は、注意して服用してください。



橋本病院指定居宅介護支援事業所

高齢者の食生活を見直しましょう

一般的に65歳位までは生活習慣病予防・メタボ・過栄養予防対策、75歳以上の後期高齢者ではフレイル（老化に伴い筋力や活動が低下している状態）予防、低栄養（食事量が減り、エネルギーやたんぱく質が不足した状態）対策が大切だと言われています。低栄養にならないようにエネルギーとたんぱく質の補給を意識しましょう。



エネルギー

体を動かす燃料です。不足すると体重が減り、体を動かす筋肉や皮膚、内臓に悪影響を与えます。主食をしっかり食べましょう。（ごはん、食パン、麺類等）

たんぱく質

筋肉や骨、内臓、血液などの体をつくる材料です。また筋肉が少なくなると転倒にもつながります。主菜等は、たんぱく質を意識して摂るようにしましょう。（魚介類、肉類、卵、乳製品、大豆製品等）



食が細くなると、1日3回の食事では必要なエネルギーやたんぱく質が不足します。不足分は、おやつなどの間食で補ったり、栄養補助食品の活用も検討しましょう。栄養補助食品にはエネルギーやたんぱく質補給を目的としたドリンクやゼリー等があります。

☆ 特別な食事管理が必要な方は、かかりつけの医師に相談しましょう。

職場体験学習

三豊中学校 2年生の職場体験実習

期間:2017年9月5日(火)～7日(木)

三豊中学校の2年生3名が職場体験実習に来られました。

3名ともリハビリの職種に興味があり、弱い足を固定する長下肢装具を装着したり、1人では歩けない患者様の歩行介助を体験してもらいました。

初めてのことで不安やとまどいもあったと思いますが、徐々に患者様とも話すことができ、笑顔で「ありがとう」「がんばってね」と言われたときはとても嬉しかったようです。



～中学生よりお礼文の一部抜粋～

今回の職場体験をさせていただき、仕事の大変さがわかった気がしました。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

これを励みにして、さらに毎日の学校生活にがんばって自分の夢を探していきたいと思っています。



今回の経験を通じて、リハビリの仕事に興味を持ってもらえたらとても嬉しく思います。

今後いろいろな体験や経験をして、自分にあった職業を見つけていければ幸いです。

患者サービス委員会

患者サービス委員会では定期的に「外来待ち時間調査」を実施しています。

病院に行くと待ち時間が長くて疲れるなど、大変な経験をした方も多くいるのではないのでしょうか。当院では待ち時間調査を実施することで、少しでも待ち時間が短くなるよう努力しています。

今回は8月に実施した待ち時間調査の結果をご報告致します。



今後とも、少しでも待ち時間を短くスムーズに診察が進められるよう努力していきたくと思います。

また、雑誌や新聞も設置しておりますので、待ち時間に活用してみてください。

受付前にいるロボット：ペッパー君にもぜひ話しかけてくださいね。

家族会

テーマ：認知症の理解と予防

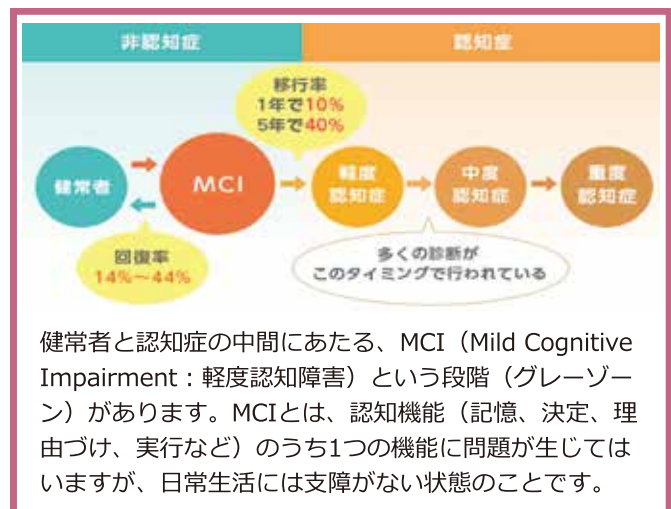
日時：平成29年9月16日（土） 担当：作業療法士

テレビなどでも認知症がよく取り上げられるようになっていますが、一言で認知症といっても、様々な症状や種類があります。それぞれに特徴的な症状もあり、種類に応じた対応・対策をする必要があります。

今回の家族会では、認知症の予防方法として、国立長寿医療研究センターが開発した「コグニサイズ」を紹介しました。運動をしながら頭を使うエクササイズのことをいい、例として「足踏みをしながら数を数え、3の倍数で手を叩く」というものです。

実際に皆様に行って頂いたところ、「頭つかうな」「難しい」と言った声も聞かれていました。

認知症は本人は自覚しづらく、症状が進行していくと家族様の負担も大きくなります。認知症は進行性であり、現時点では完治は難しいですが、進行を遅らせることは可能です。そのため、早期に気づいて症状に対応していくことが大切です。



健常者と認知症の間にあたる、MCI (Mild Cognitive Impairment: 軽度認知障害) という段階 (グレーゾーン) があります。MCIとは、認知機能 (記憶、決定、理由づけ、実行など) のうち1つの機能に問題が生じてはいますが、日常生活には支障がない状態のことです。

※ 当院では、物忘れ外来・認知症治療外来を実施しております。少しでも気になることがあれば、お気軽にスタッフまでご相談ください。

健康教室

香川県理学療法士健康増進部からの依頼で健康教室を行いました。

日時：平成29年9月5日（火） 13:30～14:30

場所：下原公民館（三豊市）

講習内容は関節の痛みについてでした。参加者は18名で、フェイスタオルを利用した簡単な体操を実施し、皆様積極的に取り組まれていました。短時間で気軽に行える体操ですので、ご自宅でも継続して取り組んで頂ければと思います。



普通救命講習

新入職員および幼児を持っている職員対象の普通救命講習を実施しました。

日時：平成29年9月14日（木）

場所：橋本病院 会議室

- 講習の内容
- ① AEDの使用方法
 - ② 心臓マッサージ
 - ③ 模擬的实践（発見からAED使用）



学会

第51回 日本作業療法学会

会期：2017年9月22日（金）～24日（日）

会場：東京国際フォーラム

「小脳性認知情動症候群と認知機能検査（MMSE）の関連」

熊谷強OT



第25回 日本慢性期医療学会

会期：2017年10月19日（木）～20日（金）

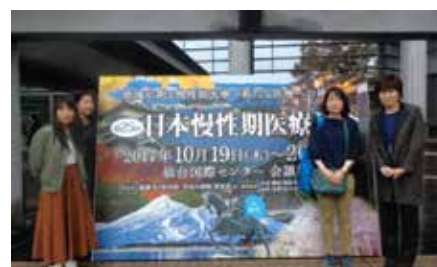
会場：仙台国際センター

「当院での転倒・転落防止対策～重大事故を防ぐ工夫～」 中西恵美Ns

「食思低下の見られた嚥下障害患者に対する嚥下リハの取り組み」 関彩里ST

「私たちは何を視ているのか

～入院時アセスメント項目の結果と今後に向けて～」 前田洋子MSW



リハビリテーション・ケア合同研究大会 久留米2017

会期：2017年10月19日（木）～21日（土）

会場：久留米シティプラザ

「訪問リハビリテーション利用により生活リズムが改善した一症例

～易転倒性で閉じこもり状態であった後期高齢者～」 三好健太PT

「フィードフォワード系の再学習により散歩が可能なレベルとなったケース」

和田悠OT



地域連携室

平成25年12月1日から行っている**事前訪問**（当院転院前に患者様が入院されている病院へ直接訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の平成29年9月～10月の実績（回復期リハ病棟）を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数：9月【24件】、10月【29件】
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：9月【7.2日】、10月【7.5日】
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：9月【18.7日】、10月【18.3日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は11.0日（3～35日）です。**大変お待ちしております。申し訳ございません。**

対象となる方

1. 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の発症から2ヶ月以内。
2. 多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
3. 外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
5. 股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。



リハビリは 365日、1日3時間

提供させていただきます。
また、多職種によるチーム医療で、早期に退院できるように取り組んでいます。

入院相談はお気軽にご連絡ください

橋本病院 地域連携部

窓口：大西 宏美

電話：0875-63-3552（直通）

0875-63-3311（代表）



認知症治療病棟への入院相談もお伺いしております。お気軽にご連絡ください。



移動も安心のサービス

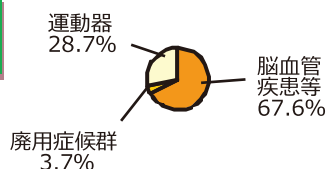
転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出ください。

事務部

～診療実績(H29.10月)～

病棟名	1病棟 (29床)	2病棟 (60床)	3A病棟 (35床)	3B病棟 (32床)
入院料	回復期 リハビリ	回復期 リハビリ	認知症 治療	認知症 治療
平均入院患者数	28.5人	59.9人	34.5人	31.7人
平均在院日数	77日	94日	290日	291日
在宅復帰率	85.7%	77.5%	-	-

入院患者疾患別 リハビリテーション 内訳



◎ 医療費控除について ◎

医療費を一定額以上支払った場合、「医療費控除」として所得から差し引くことができます。しかし、年末調整では医療費控除は受けられませんので自分で確定申告を行う必要があります。医療費控除は生計をともにする家族の医療費が対象ですので、もらった領収書はしっかり管理して医療費控除を賢く利用しましょう。

<申告方法>

- ①管轄の税務署に必要な書類を持参し、申告書を作成
- ②事前に申告書を作成し期限までに郵送で送るもしくは持参
- ③電子申告の手続はインターネットの「e-Tax」で行う
(但し事前準備要)

<受付期間>

平成30年3月15日（水）まで

☆不明な点は税務署又は市町村にご確認ください。



<年末年始休診日> 12月31日(日) ～ 1月3日(水)



感染防止対策について

毎年寒い時期になると、インフルエンザやノロウイルスといった感染症が流行し集団感染が報告されています。入院患者様にはご高齢の方や様々な疾病をお持ちの方が多く、感染症に罹患されると一般の方に比べ重症化が懸念されます。当院でも感染防止に万全を期するため、面会制限をさせて頂いておりますのでご協力をお願い致します。

実施期間：平成29年11月1日～平成30年3月31日 面会時間：8:00～20:00

出入口：正面玄関の1ヶ所のみ

体調チェック：病棟入口にて、熱発、咳、嘔気・嘔吐、下痢等の症状の有無の問診と体温測定



- * 熱発、咳、嘔気・嘔吐、下痢等の症状がある方、また1週間以内に同様症状のある方と接触されている場合は面会をお断りさせていただきます。
- * また、12歳以下の方の病棟での面会はお断りさせていただきます。別室を設けさせて頂いております。
- * 地域または院内で感染症が集団発生した場合には、上記に関わらず、全ての面会を制限させていただきます。その際、洗濯物等の受け渡しは、病棟入口にて行わせて頂きます。

ご家族の皆様、ご面会の方々には大変ご不便をお掛け致しますが、入院患者様の感染防止対策のため、ご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

ふれあい夜市

平成29年9月23日（土）観音寺市柳町通り商店街で行われた「ふれあい夜市2017」に参加しました。当院のリハビリスタッフ（PT1名、OT4名）がバンドで参加し、4曲披露しました。結成して1年半だそうです。会場から温かい拍手を頂き、とても満足そうでした。来年は皆様も是非見に来てください。



ボランティアのお知らせ



ボランティアのご協力をしていただける方を募集しています！

内容として・・・（踊り、手品、紙芝居、大正琴や話し相手・介護など）

橋本病院へご協力していただける方は、連絡先：0875-63-3311 担当者：宮本 美恵子

メディコポリス観音寺へご協力していただける方は、連絡先：0875-23-3311 担当者：森 香代子

上記の担当者までお問い合わせください。



職員募集のお知らせ

募集

薬剤師
看護師・准看護師
介護福祉士・介護職



まずは、病院見学にお越し下さい！
給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。

<http://www.wafukai-hashimoto.jp>

TEL 0875-63-3311（人事担当：安藤）

医療法人社団和風会 橋本病院
〒768-0103
香川県三豊市山本町財田西902番地1
TEL：0875-63-3311
FAX：0875-63-2651
入院相談直通電話：0875-63-3552
E-mail：wafukai@gaea.ocn.ne.jp
HP：http://www.wafukai-hashimoto.jp
発行元：橋本病院 広報委員会

医 回復期リハビリテーション病棟 89床
療 認知症治療病棟 67床

介 橋本病院指定居宅介護支援事業所
護 通所リハビリテーションセンターはしもと
メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと
訪問リハビリテーションセンターはしもと

